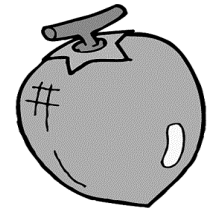


柿栽培技術情報（台風対策）



令和3年9月17日

宮城県大河原農業改良普及センター

台風接近に伴う強風及び大雨による技術対策

気象庁が発表する最新の台風情報等に注意し、農作業及び農地・農業用施設の見回りについては気象情報を十分に確認し、危険な天候が治まるまで行わないなど、人命を最優先に二次災害の防止の徹底をお願いします。

1 事前の対策

- ・ 強風に備えて樹体は支柱で補強しておきます。
- ・ 排水が速やかに行われるように園地周辺の排水路の点検、清掃を行います。
- ・ 風雨が予想される地域では、炭そ病の感染拡大が懸念されるため、表1を参考に薬剤散布を行うとともに、り病した枝や果実は園外へ処分します。

2 被害拡大防止のための対策

- ・ 倒伏した場合は、健全な根を切らないようできる限り早く引き起こし、支柱を添えて固定します。
- ・ 被害により樹勢が弱まっている場合は、薬害が発生しないように留意しつつ病害虫の防除を実施します。

表1 9月のかきの炭そ病防除事例

令和3年9月8日現在

薬剤名	FRAC	希釈倍率	使用時期	本剤の使用回数	備考
ナリア WDG	11/7	2,000~3,000倍	収穫前日まで	2回以内	※1
トップジンM水和剤	1	1,000~1,500倍	収穫前日まで	6回以内	
ストライド顆粒水和剤	M11	3,000~4,000倍	収穫14日前まで	4回以内	※2

※ 農薬使用上の注意

- ・ 使用回数はその農薬の使用回数を示していますので、農薬を使用する際には、その剤の使用回数と含有する成分ごとの使用回数に注意してください。
- ・ 農薬散布を行う場合は、事前に最新情報で農薬登録を確認の上、使用してください。また、農薬使用の際には飛散防止対策を講じてください。

※1 ナリア WDG

浸透性を高める効果のある展着剤を加用すると薬害が生じるおそれがあるのでさけます。

※2 ストライド顆粒水和剤

夏季高温時の他の薬剤との混用散布は、薬害を生じる場合があるので避けます。

自然災害等のリスクに備え、農業保険に加入しましょう。

秋の農作業安全運動「見直そう！農業機械作業の安全対策」